



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3542-5151
担当者の所属・氏名：心臓血管外科・玉木理仁

【研究責任者】

聖路加国際病院 心臓血管外科 玉木理仁

冠動脈バイパス術を施行した方を対象としたノータッチ内視

鏡下大伏在静脈採取の有用性に関する研究

1.研究の対象

当院で2018年8月から2022年8月までに内視鏡を用いて足の静脈を採取した方。

現在冠動脈バイパス術(CABG)においては大伏在静脈(SVG)が頻繁に使用される代用血管(グラフト)の一つですが、今回内視鏡下にノータッチ法と呼ばれる方法で大伏在静脈を採取することについて調査することで、創部感染症を減らした上でグラフトの開存率が向上することを明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2024年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2023年7月21日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、心臓超音波検査の結果、CT検査の結果、採血検査の結果、手術時の所見、合併症等の発生状況、カルテ番号 等